

公表 平成9年度予算

万円でスタート

平成9年度の当初予算が3月定例議会
で可決されました。

予算編成に当たっては、「活力ある文化環境都市づくり」を
目指して策定した町基本構想を
着実に推進するため、災害対策、
環境対策、福祉・保健の充実、
産業振興、道路整備、教育施設
の充実など、町民の皆さんの生
活に密着した身近な事業の推進
に重点を置きました。その結果、
平成9年度予算は
一般会計

- 45億3000万円
(対前年度比3・9%増)
国民健康保険特別会計
11億1000万円
(対前年度比9・6%増)
 - 老人保健特別会計
9億2640万円
(対前年度比0・3%増)
 - 食肉センター特別会計
2億6570万円
(対前年度比66・2%減)
 - 総額
68億3210万円
(対前年度比3・5%減)
- となりました。総額で減額とな
った主な要因は、食肉センター
特別会計において浄化槽施設の
全面改修と冷凍機改修の建設事
業が8年度で終了したことによ
るものです。

一般会計

歳入

町税は、町民税において特別
減税の廃止による増要因はある
もの、農業所得の落ち込みや
景気の低迷による法人所得の減
が予想され、固定資産税におい
ても新增築家屋等の増はあるも
の、評価基準の引下げによる
減が見込まれることから、町税
全体では前年度並の9億454
0万円となりました。

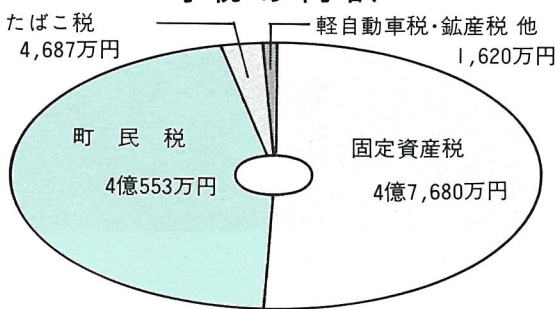
また、今年の4月1日から導
入された地方消費税は、地方税
源の充実を図るため、条例によ
って都道府県が課する地方税で
す。地方消費税率は消費税率の
1%相当分で、このうちの2分
の1が市町村に按分されて交付
されます。

歳入全体の39・3%を占める
地方交付税は、対前年度比3・
5%増の17億8000万円を見
込みました。

前年度と比較して分担金及び
負担金、国・県支出金が大幅に
増額となりましたが、これは特
別養護老人ホーム第二松丘園の
開設に伴い、施設入所措置に係る
負担金やデイサービス事業に対
する補助金が増となることが主
な要因です。一方、諸収入は大

幅に減額となりましたが、これ
は特別養護老人ホーム第二松丘
園騒音防止対策事業補助金が事
業終了により減となったため
です。

町税の内訳



歳出

歳出では議会費、衛生費、教
育費が前年度と比較して若干落
ち込みましたが、他は増加しま
した。特に増額の大きいのは総
務費で前年度と比較して647
3万8千円、10・4%の増です。
これは、集会所施設設置事業補助
金や都市マスタープラン策定調
査業務委託、光町文化スポー

振興財団出捐金が新たに盛り込
まれたことにより増す。

歳出全体に占める割合が一番
大きいのは民生費で16・9%で
す。特別養護老人ホーム第二松
丘園建設事業に対する補助は事
業終了により減となりましたが、
本施設の開設に伴う施設入所者
の増や併設されるショートステ
イ、デイサービス、在宅介護支
援センターに関する新たな財政
需要により、民生費全体では対
前年度比0・9%の微増ではあ
りますが大規模な予算となりま
した。

南条地区スポーツレクリエーション施設整備事業

地元から熱望されているスポ
ーツレクリエーション施設の建
設については、整備に向けての
検討を行うこととし、専門的な
意見を取り入れた基本計画を作
成するため210万円の予算措
置をしました。

姉妹町交流事業

昨年7月12日に姉妹町を締結
した長野県上山田町との交流を
深めるため、子供からお年寄り
までの幅広い人的交流並びに特
産品の交流を図れるよう、新た
に97万4千円の姉妹町交流事業
費を予算措置しました。